

くびき野 NPO サポートセンター 令和元年度事業報告

事業実施の方針

- (1) 地元新聞社との協働による市民活動の発信を始めて 20 年を迎え、掲載情報の見直しと紙面の強化に取り組む。
- (2) 引き続き事業の合理化や人材のスキル向上等、組織の基盤強化を図る。

重点項目として、

- ①にいがた NPO 基金
- ②NPOPRESS 製作

ビジョン 2008 に基づく事業区分

市民の NPO への関心を高める事業 目標:くびき野地域の NPO 法人数 1 万人(地域人口の 1%)	①NPO PRESS 制作
	②上越市市民活動支援
	③SAVE JAPAN プロジェクト
市民の NPO への支援を高める事業 目標:NPO へのボランティア参加している人の割合 3 割 くびき野地域の NPO 法人への寄付総額 3 億円	①にいがた NPO 基金
	②災害支援
	③県中間支援組織スタッフスキルアップ研修
地域に自主・自立した NPO を増やす事業 目標:NPO 法人数 300 団体	①NPO 法人設立・運営相談
	②講師派遣
	③協働環境整備
	④印刷機設置
	⑤NPO インキュベーション施設提供
センター運営に関する事業	①会員拡大
	②総会
	③理事会
その他	①他団体との連携等

市民のNPOへの関心を高める事業

①NPO PRESS 制作（上越タイムス社との協働事業 継続事業 20年目 達成レベル△）

目標

協働事業が始まって20年が経ち、引き続き市民に対するNPO・市民活動の発信を継続していけるように、より一層、企業等から支援広告を拡充していく。紙面の見直しを行い、地元だけでなく市民セクター全体の動きや新連載などを進める。

★数値目標 広告訪問件数400件、年間広告250万円

報告

6月の山形県沖地震、10月の台風第19号等、近隣県を襲った災害時、県内やくびき野地域の市民活動の動きや被災地支援の動きなどを紹介。3月には新型コロナウイルス感染拡大に伴う団体の対応なども取り上げた。当事者視点の情報発信を拡充しようと、新しく活動を始めた団体による寄稿も増やした。災害等の特集紙面では協賛を得られるものの、通常紙面への協賛は減少しており、目標金額を達成することができなかった。

★数値実績：営業（アプローチ）件数 152件、年間広告料収入1,067,796円

NPO PRESS 掲載記事一覧

（平成31年4月～令和2年3月）

月日	TOP	市民活動図鑑、トピックス ほか	連載
4	1 高田城百万人観桜会 市民活動団体活躍	・市民活動用印刷機新しく・NPO向け「出張相談会」開催	波と母船
	8 妙高市地域づくり協働センター開設	・越後高田町家三味春の巻・「介助運搬車」特別賞受賞 ・上越市吹奏楽団演奏会	KDL
	22 日本語ボランティア、 保育ボランティア養成講座紹介	・くびき野レールパークこどもの日特別公開	ひとサポつうしん、 しっぽのなかま上越
	29 にいがたNPO基金 第7回助成プログラム助成団体決定	・スゲ細工展・ダイバーシティ講演会 ・ICANオープンハウス	おりづる
5	6 にいがたNPO基金助成金活用報告第1弾	・上越市みどりのフェスティバルにNPO出展	
	13 上越市名家一斉公開	・上越青年会議所「星のように女性が輝く上越委員会」	波と母船、KDL
	20 瀧本邸公開前に中学生が清掃ボランティア	・ポケット倶楽部フリーマーケット・休眠預金活用進捗	ひとサポつうしん、 しっぽのなかま上越
	27 にいがたNPO基金助成金活用報告第2弾	・妙高わかかの会議・妙高支え合いネット地域拠点	おりづる
6	3 令和元年度くびき野NPOサポートセンター 通常総会報告	・きょうだいの会まいせるふ ・地域づくり巡回講座にいがた旬塾	波と母船
	17 環境月間特集「蛭」 （上越ほたるの会、仁上ほたるの会）	・白田邸保存会もみじ講習会 ・上越ブラネット800名参加して海岸清掃	KDL、 しっぽのなかま上越
	24 山形県沖地震 ・村上市被災者支援（新潟県災害救援機構）	・新潟ろうきん福祉財団地域づくり報告集発刊記念集会 ・緑とくらしの学校スライド上映会&対談 ・青田川を愛する会500人参加してクリーンアップ活動	ひとサポつうしん、 おりづる
7	1 地域づくり巡回講座「にいがた旬塾2019」 糸魚川で開催	・妙高わかかの会議・世界館七夕縁日 ・たかだsho劇場	波と母船
	8 新潟ろうきん福祉財団 NPO等助成助成先決まる	・かみえちご山里ファン倶楽部「ろうきん森の学校」	KDL
	15 ICANアドベンチャーな夏を体験	・街なか映画館再生委員会が世界館前で交流イベント ・社会貢献レポート「大島自動車販売」	ひとサポつうしん
	22 カコミライマーケット開催	・妙高わかかの会議が移動交流拠点リヤカー屋台 ・きょうだいの会まいせるふ ・はすまつりNPOイベント情報	しっぽのなかま上越、

月日	TOP	市民活動図鑑、トピックス ほか	連載
8	5 妙高わかもの会議第3回会議	・くびき里やま学校夏の観察会	KDL、波と母船
	19 高田でイベント 「カコミライマーケット」「こども縁日」	・金谷JOYプロジェクト ・高田世界館おそうじ会	ひとサポつうしん、 しっぽのなかま上越
	26 ぼうさいこくたい出展 (新潟県減災連携推進センター)	・にいがたNPO基金第7回助成金交付式開催 ・手しごと手づくり作品展柿崎で開催	おりづる
9	2 SAVEJAPAN「学ぼう！クマヤシカとの共生」 参加者募集	・妙高市街地で街なか映画館 ・にいがたNPOカレッジ	波と母船
	16 減災タウンミーティング開催 (新潟県減災連携推進センター)	・動物愛護フェスティバル ・移動式活動拠点リアカブ始動 ・市民活動図鑑「のうごち」	KDL、ひとサポつうしん
	23 妙高あらいまいもんまつり街祭2019	・くびき野レールパーク一般公開・子育てミーティング	しっぽのなかま上越
	30 妙高わかもの会議「妙高女子旅」企画	・ごぜミュージアム高田が企画展と演奏会 ・越後高田町家三昧秋ノ巻 ・敬老会でボランティア (上越尺八クラブ・上越マジシャンクラブ)	おりづる
10	7 上越と妙高でSAVEJAPAN 「クマとの共生考える」開催	・高田世界館館内リニューアル	波と母船
	14 にいがた言友会「吃音の世界」講演会	・上越若者みらい会議 ・ろうきん森の学校で森林整備と体験活動	KDL、ひとサポつうしん
	21 台風19号豪雨被災地に資機材を搬送 (にいがた災害ボランティアネットワーク)	・上越アール・ブリュット公募展 ・高校生が高田世界館をPR・土の香工房ハーブ講座	しっぽのなかま上越
	28 台風19号長野市で被災者支援 災害ボランティアバス	・新そば「清里新そばまつり」「桑取谷新そばの日」 ・高田法人会特別講演会	おりづる
11	4 上越市名家5 邸秋の一斉公開	・上越でアール・ブリュット公募展終了 ・くびき野フォーク村 ・ちょこっとボランティア体験ブース	波と母船
	18 上越、糸魚川、妙高から被災地へ 災害ボランティアバス	・ボランティアバス追加運行	KDL
	25 まず安心して話せる環境を (にいがた言友会講演会)	・上越名家一斉公開開催	ひとサポつうしん、 しっぽのなかま上越、 おりづる
12	2 未明作品を朗読と生演奏で (妙高支え合いネット)	・きょうだいの会まいせるふ・新井吹奏楽団定期演奏会 ・長野市へのボラバス運行	波と母船
	16 千支「子」のスゲ細工2種類 (平丸スゲ細工保存会)	・災害支援コーディネーター養成研修中級編	KDL、ひとサポつうしん
	23 NPO PRESS2019年振り返りダイジェスト		しっぽのなかま上越
1	13 今年の抱負(のうごち・滝川さん、街なか映画館再生委員会・佐藤さん、かみえちご山里ファン倶楽部・小口さん)		
	20 殺陣のワークショップ開催(越後軒猿衆)	・市民が千羽鶴寄贈 ・企業の社会貢献「明治ホールディングス」	KDL、ひとサポつうしん
	27 休眠預金活用事業実施する団体の募集開始	・あわゆき道中・高田ごぜふたたび ・災害支援コーディネーター養成研修中級編開催	おりづる、 しっぽのなかま上越
2	3 「森のようちえん」と幼児教育無償化	・妙高わかもの会議「KAMAKURA in 妙高」	のうごち
	17 第8回にいがたNPO基金助成募集開始	・ろうきん高田支店が2団体へ寄付贈呈 ・NPO法人情報公開	KDL、ひとサポつうしん
	24 新潟県中間支援組織スタッフの研修会開催	・NPO法人情報公開	しっぽのなかま上越、 おりづる
3	2 コロナウイルスへの対応 (高田世界館、妙高支え合いネット、 上越アクティブスポーツ協会)	・新潟ろうきん福祉財団「NPO等助成事業」募集開始	のうごち
	9 東日本大震災から9年、 広域避難者が語る故郷への想い	・災害支援コーディネーター養成研修上級編開催 ・公孫会高田支部が密くらぶへ寄贈 ・NPO法人情報公開	
	23 コロナウイルス感染症拡大の影響による NPO法人支援情報	・スゲ細工保存会展示会	KDL、ひとサポつうしん
	30 妙高わかもの会議成果報告	・「さんびズ」説明会・棚田学校参加者募集	おりづる

②上越市市民活動支援（上越市受託事業 継続事業 18年目 達成レベル◎）

目標

ボランティア相談及びコーディネート、ボランティアニーズ調査を実施。その他、NPO・ボランティアセンター団体登録に付随する管理を行う。社会活動参加促進のためのサイト「hand shake」等も活用し、ボランティア活動に関する最新情報を提供。上越市の小中学生に配布する「ボランティアだより kids」も発行。

★数値目標：ボランティアコーディネート 400件
hand shake 訪問者 40,000人

報告

窓口担当スタッフを配置し、コーディネート業務を実施。

★数値実績：ボランティアコーディネート 541件
hand shake 訪問者 28,302人
ボランティアだより kids 発行 15,000部

③SAVE JAPAN プロジェクト（継続事業 8年目 達成レベル◎）

目標

損保ジャパン日本興亜「SAVEJAPAN プロジェクト」の新潟エリアを担当する。今年度も昨年に引き続き「ツキノワグマ」をテーマに、駆除だけでなく人間との共存や希少生物の保全を考えるシンポジウムと現地調査会を実施し、市民に環境保全活動への参加を促進する。

★数値目標：イベント参加者数 100名（シンポジウム 70名、現地調査会 30名）

報告

NPO 法人新潟ワイルドライフリサーチと連携し、今年度は上越地域でツキノワグマの保全及び人間との共生をテーマとしたシンポジウムとイベントを開催した。5月に中心市街地でクマが出没したこともあり、大勢の市民や行政機関より参加を得た。

●シンポジウム「新潟県のツキノワグマ～現状と対策を知るシンポジウム in 上越～」
9月28日、上越人材ハイスクール

●子ども向け体験イベント「クマってどんな生き物？～クマについて学ぼう in 妙高～」
9月29日、ハートランド妙高

★数値実績

参加者数：シンポジウム 62名、体験イベント 65名

満足度：シンポジウム 82%、体験イベント 87%



市民の NPO への支援を高める事業

①にいがた NPO 基金（継続事業 7 年目 達成レベル△）

目標

県内企業や市民にむけ寄付募集のアプローチ（企業訪問、募金、NPO への PR 等）を積極的に行う。合わせて、新潟ろうきん NPO 寄付システム、ひとくちの寄付キャンペーンを通じた寄付募集も継続していく。助成事業については、5 年間の助成金活用状況や成果について評価を行い、報告書を製作する。

報告

「新潟ろうきん NPO 寄付システム」を中心に寄付募集を行い、今年度は県内で活動する NPO 等へ総額 555,000 円を助成することができた。募集時期が新型コロナウイルス感染症拡大の影響と重なってしまったことや、同感染症拡大の影響により事業の見通しが立ちにくい状況から申請数が減少したと考えられる。

●ファンドレイジング（寄付募集）事業

- ・「第 5 回ひとくちの寄付」キャンペーン：エントリー団体数：17 団体（継続）
- ・「新潟ろうきん NPO 寄付システム」登録者数：401 件
- ・企業訪問、募金箱設置等：11 件

●助成事業

- ・「第 7 回助成金交付式、報告会」
8 月 21 日（新潟県自治会館）
- ・「第 8 回（2020 年）助成プログラム」
募集期間／2 月 12 日～3 月 12 日 選考会／3 月 30 日
助成総額：555,000 万円（5 団体）
- ・A コース（上限 5 万円）※いずれも受付順
すまいる桜援団（上越市）：50,000 円、えちご邸園王国（柏崎市）：50,000 円
- ・B コース（上限 30 万円）※いずれも受付順
NPO 法人溪流再生フォーラム（新潟市）：220,000 円、村上 ohana ネット（村上市）：135,000 円
NPO 法人教員サポート Smile ういんず（新潟市）：100,000 円、

にいがた NPO 基金 令和元年度決算書

2019年4月1日～2020年3月31日

収入の部		支出の部	
項目	決算	項目	決算
寄付金収入		助成金支出（未払い）	
おまかせ型寄付	957,500	第8回（2020年）助成金	555,000
その他		経費	
前期繰越金	10,714	会場費	18,500
受取利息	7	旅費交通費（運営委員、事務局、団体含む）	51,880
助成金返金（※1）	50,000	通信費	86,781
		研修費	0
		会議運営費	67,198
		雑費、租税費	8,974
当期収入合計	1,018,221	当期支出合計	788,333
		次期繰越	229,888
収入合計	1,018,221	支出合計	1,018,221

※1. 第7回（2019年）助成先団体の一団体が、申請事業の実施を見合わせたため返金

<参考>

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり助成応募数が少なかったため、例年に比べ採択数が減少した。

次期繰越として、次回以降の助成プログラムの助成金に活用する。

②災害支援（継続事業 9年目 達成レベル◎）

目標

上越市で災害が発生した際、災害ボランティア活動における関係団体間の連携体制を構築することを目的とした「上越市災害ボランティア連携推進会議」について、引き続き取り組む。

報告

●「浪江のこころ通信」への協力

東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会が、福島県浪江町の避難者支援として実施している「浪江のこころ通信」において、新潟県内の取材窓口を担当。令和元年度は、柏崎市と新潟市で生活する4名を取材。

●上越市災害ボランティア連携推進会議

上越市社会福祉協議会と上越青年会議所による3者で継続的に開催。台風19号で甚大な被害を受けた長野市に向け、同枠組みで10月にボランティアバスを運行。これに加え、糸魚川市や妙高市の社会福祉協議会、青年会議所とも連携し、11月にも計4回のボランティアバスを運行。延べ100名以上のボランティアを被災地に派遣した。

10月27日（長野市北部災害ボランティアセンター）参加者22名

11月5日（長野市北部災害ボランティアセンター）参加者24名

11月14日（信州農業再生復興ボランティアプロジェクト）参加者25名

11月20日（信州農業再生復興ボランティアプロジェクト）参加者20名

11月28日（長野市北部災害ボランティアセンター）参加者18名

●新潟県災害ボランティア調整会議

新潟県内の災害ボランティア活動の普及啓発を目的に新潟県や県社協、市長会等21団体で組織する会議。当センターも加盟団体として参加。「災害支援コーディネーター養成研修」運営委員への参加、災害支援アドバイザー派遣の選考委員、財源確保部長などを担当。



③中間支援組織職員スキルアップ研修（新潟県受託事業 2年目 達成レベル○）

目標

県内各地で非常利活動団体を支援している中間支援組織の職員が、研修を通じて支援能力を向上（スキルアップ）させることを目的に、研修テーマ決定のための事務局長ミーティングとスキルアップ研修会（講義形式）を実施する。

報告

県内の中間支援組織職員の支援力向上を目的に研修会を開催した。研修会では、「支援力向上とつながりの促進」をテーマに、中間支援組織の活動（事業）の発表、トレンドとキーワードをつかむ意見交換のセッション、ワークショップの三部構成で実施した。

・企画ミーティング：12月10日（新潟県庁）

・研修会：2月19日（長岡市まちなかキャンパス）

★数値実績

参加者数：企画ミーティング10名（県内中間支援組織の事務局長級）、研修会28名（中間支援21名、行政7名）

研修会満足度：89%

地域に自主自立した NPO を増やす事業

①NPO 設立、運営相談（ 継続事業 21 年目 達成レベル○ ）

目
標

多様な内容の相談が増加しているため、幅広いニーズに対応できる人材を育成する。また「上越市ソーシャルビジネス支援ネットワーク」等、各方面の専門家との連携を深めることで、対応力を向上させる。

報
告

事業化に伴い、法人格を取得する際にどの法人にするか、それぞれのメリットデメリットといったもの。3月になると新型コロナウイルス感染拡大に伴う様々な相談に対応した。
数値実績：相談件数 23 団体 延べ 55 件

②講師派遣

●講師派遣

日付	主催・依頼元	内容	担当
10月8日	フードバンクにいがた	地域のフードバンク活動に関する座談会	近藤
12月21日	新潟県災害ボランティア調整会議	災害支援コーディネーター養成研修会 初級	新保
1月22日	新潟県災害ボランティア調整会議	災害支援コーディネーター養成研修会 初級	新保

③協働環境整備（ 継続事業 13 年目 達成レベル○ ）

目
標

地域の市民活動の推進に必要な取り組みについて、行政と協力しながら検討し、来年度以降の事業として提案していく。また、「妙高わかもの会議」のコーディネーターとして、行政と若者の協働の場づくりを後押しする。

報
告

妙高市の「妙高わかもの会議」にコーディネーターとして6回の会議に参加。メンバーは、若者のアイデアを施策に盛り込む場づくり、移住者同士や地元住民との交流、女性の移住促進など、テーマごとにプロジェクトグループをつくり、事業に取り組んだ。

④印刷機設置（ 上越市との協働事業 継続事業 9 年目 達成レベル○ ）

目
標

上越市 NPO・ボランティアセンターに市民活動団体が利用できるカラーコピー機を設置。4月から新しいコピー機に入れ替え、台数も2台（カード式とコイン式）に増設し、利便性を向上させる。

★数値目標：単色印刷 500,000 枚の利用
カラー印刷 50,000 枚の利用

報
告

新しいコピー機を2台に増設して導入。新しい磁気カードの交換など多少の混乱もあったが、引き続き低価格の印刷を団体に提供できる状態を維持することができた。

★数値実績：単色印刷 259,112 枚の利用
カラー印刷 18,657 枚の利用

⑤NPO インキュベーション施設提供（継続事業 18年目 達成レベル×）

目標

事務所の活用に向け、施設面の整備に加え、窓口代行や他団体の事務局委託等ソフト面の整備を提供していく。

報告

現在、1団体が入居しているが、他団体にも入居をすすめていく。

くびき野 NPO サポートセンターの運営に関する事業

①会員拡大

- ★数値目標：個人会員 100、団体会員 65、企業会員 90
- ★数値実績：個人会員 65、団体会員 51、企業会員 73

②総会

5月28日に実施

③理事会

年2回開催、財政会議を3回開催

他団体主催の事業、会議への参加

委員等の派遣

民間	NPO 法人マミーズ・ネット じょうえつ子育て info 評議会 委員
	上越市市民プラザ全体運営委員会 委員
	社会福祉法人上越市社会福祉協議会 理事
	新潟県共同募金会上越支会 委員
上越市	上越市新年祝賀会実行委員会 委員
	上越市表彰審査会 委員
県内	一般財団法人新潟ろうきん福祉財団 理事、NPO 等助成事業選考委員会 委員
	特定非営利活動法人NPOさんじょう 理事
	新潟県災害ボランティア調整会議財源検討部会 座長
全国	特定非営利活動法人日本NPOセンター 副代表理事